

編集後記

今回の『探求』は、テーマレクチャー論文3本、個人研究発表論文8本で合計11本もの論文を掲載することができ、近年にないページ数となりました。テーマレクチャーの「道徳の根拠」は、最近話題のテーマということもあり、昨夏の合宿でも議論は活況を呈しました。今回の3論文からも、その活況ぶりがひしひしと感じられることと思います。研究発表に関しても、多種多様な論文が集まり、編集人としては、非常に内容豊かな『探求』をつくることができたことと喜んでます。レクチャーのお三方も含めまして執筆者の皆様には、この場をお借りして御礼を申し上げます。また、今回も宣伝も兼ねて、今夏のテーマレクチャーのファーストスケッチを掲載しています。レクチャーのお三方にはお忙しい中、原稿をお寄せ頂きましてありがとうございます。

最後に、編集エンジニアの星屋さん、いろいろとご援助、ご協力を頂きました皆様にも御礼を申し上げます。 (『探求』編集渉外担当 金杉 武司)

昨年度は『探求』に原稿を書かせていただきましたが、攻守交代、思いもよらず今年度編集を担当することになりました。本日、編集作業を終えることが出来、こうして最後のページの筆(?)をとっています。ベストを尽くしたつもりですが、大きな誤りがあるのではないかという不安は消えません。

昨年度から『探求』は横組みになりました。書式、体裁等、基本は昨年を踏襲していますが、いくつかの点で新たな試みを行い、さらなる読みやすさを目指しました。とはいえ、今後もこの追求は続きます。印刷、形式について読者の皆様のご意見、ご感想を世話人にお寄せいただければ幸いです。

編集作業上、他の世話人の皆さんにも大変お世話になりました。技術的な問題は西村さん、星野さん、金杉さんの助言なくしては解決できませんでした。福田さん、法野谷さん、村井さんの丁寧な校正作業も忘れるわけにはいきません。そして、もちろん、『探求』は掲載される論文なくしてはありえません。忙しい中、貴重な論文を執筆していただいた皆様には、心よりお礼申し上げます。 (『探求』編集エンジニア担当 星屋 雅博)